

育成を目指す資質・能力

植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、植物が生命を持っていることや成長していることに気付くとともに、生き物に親しみ、大切にしようとすることができるようにする。

ICT活用のポイント

※継続的に観察記録を作成し保存していく。

(植物を写真に撮り、その様子や気付いたことを写真に書き加えていくことで、観察記録を残していく。)

※写真や観察記録を使った気付きの交流、デジタルホワイトボードソフトを活用した感想の交流による協働学習を進めていく。

※野菜の成長の様子を時系列で確認できたり、拡大してじっくりと観察できたりするため、観察や記録活動に主体的に取り組める。

①育てたい野菜について話し合う

②苗を植える

③観察日記をつける

④成長の様子をまとめる

⑤友達と紹介し合う

事例の概要

③「観察日記をつける」

- ・ICT端末のカメラ機能を使用し、観察したい植物を選び、静止画を撮影する。
- ・撮影した写真の中からその日の観察日記に記録したい写真を選び、写真の編集機能を使用して手書きで記録を残していく。

④プレゼンテーションソフトに写真を貼り付ける。

- ・教師が、スライド上に写真を貼り付けるスペースと観察日を数字入力する欄を作成しておき、児童が貼り付けることで、成長の様子を日記に残していく。
- ・手書き入力で、残したい気付きを書き加える。

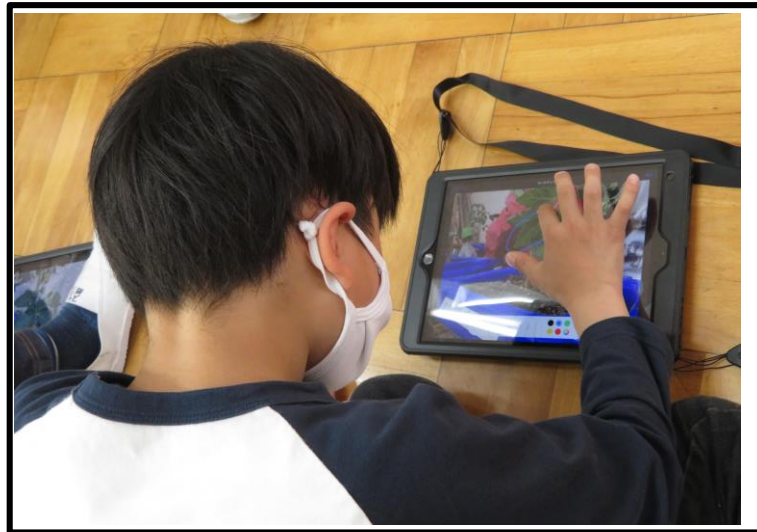
⑤デジタルホワイトボードソフトを使い、友達にメッセージを書く。

- ・教師が、スライドに一人一人のページを作成し、各自が選んだ写真と気付きを中央に貼り付けておく。
- ・発表者は、グループまたは全体で画面または大型ディスプレイを見ながら発表する。
- ・聞き手は、デジタルホワイトボードソフトを使って感想を書き貼り付ける。
- ・話し手は、受け取った付箋を、自分で並べ替え、振り返りを行う。

【事例におけるICT活用の場面①】



【事例におけるICT活用の場面②】



* 学習活動③「観察日記をつける」に関連した活動

【事例におけるICT活用の場面①】について

- ・各自が残したい場面を写真に記録する。
- ・写真を撮る前に、観察をする。（よく見る、においをかぐ、さわって感じるなど、児童がしっかりと観察した上で、写真を撮影させたい。そうすることで、意図をもった写真撮影となる。）
- ・ICT端末で様子を記録することで、雨天であっても記録を残しやすくなり、より継続的な観察記録を残していくことができる。

【事例におけるICT活用の場面②】について

- ・伝えたい写真を選び、写真編集機能を使い、手書きで様子や気付いたこと、感想などを書く。
- ・キーボード入力得意ではない児童や低学年の児童において、手書き入力は特に有効であり、学習活動に取り組みやすくさせる。
- ・各自がそれぞれ取り組み、振り返りの時間には、画面を見合いながら伝え合う。（画面を共有できる環境であれば、全体で大型ディスプレイを活用して聞き合うことができる。）

（ICTを活用する際に留意しているポイント）

- ・ICTはあくまでも、児童の学習を充実させるためのツールである。紙のワークシートに記録させる、実際に見たりさわったりにおいのかいだりといった五感を使った活動を充実させるなど、生活科で求められる資質・能力の育成に効果的な活動を選択して授業に取り入れていくことが大切である。

【活用したソフトや機能】 ・プレゼンテーションソフト・デジタルホワイトボードソフト
・カメラ機能と写真編集機能